

# ふるさと見て歩き 第144回

## 御前山ダム周辺散策 ～市史を片手にバードウォッチング～

心地良いお天気の9月某日、御前山ダムに出かけました。御前山ダムは、市内西南(下伊勢畑地内)に位置する、緑豊かで自然環境に恵まれたダムです。昭和62年に計画が始まり、平成24年に完成しました。那珂川沿岸の台地上に広がる畑地帯や、小河川流域に介在している水田地帯に安定的な農業用水の供給を図るため、那珂川に揚水機場を新設し、パイプラインによってそれぞれの地域に送水する目的で建設されました。農業専用の「中心遮水ゾーン型ロックフィルダム」です。

22年前の「広報ごぜんやま」には、御前山ダムの本体工事が始まったことをお知らせする記事が掲載されました。旧御前山村では、動植物の生息環境保全や水質の維持など、自然環境に最大限配慮した整備を図りながらも、周辺施設(青少年旅行村や三王山自然公園など)にダム湖の個性を生かしたレクリエーションを充実させ、魅力あふれるまちづくりを目指すことがうたわれました。現在ではダムを周回する道路や駐車場が整備されているほか、今年度からダム湖面利用の試験運用もスタートし、カヌーやボート等の体験イベントが開催されている非常に魅力的なスポットです。



▲「広報ごぜんやま」平成12年8月号



▲現在の御前山ダム

ところで、今年6月から販売が開始された『常陸大宮市史 別編2 自然』では、常陸大宮を知り尽くした専門家によって、市域の地質・地形の成り立ちや生息する動植物についてわかりやすくまとめられています。

せっかくですので、この『常陸大宮市史』を片手に、河川や湖沼にすむ鳥に注目しながら散策してみましょう。

御前山ダムの駐車場に車を止め歩き出すと、早速大きくて立派な鳥が飛んでいるのを発見。猛禽類のようです。



続いて湖面に目をやると、4羽が一行になって泳いでいました。カルガモか、カイツブリのようになります。



▲カルガモ



▲カイツブリ

しばらく散策を続けていると、2羽の小さな鳥が水を飲んでいるところを発見。市史の写真と見比べると、それぞれイカルドリとキセキレイのように見えました。

少し移動して御前山橋を歩いていると、ダムで最初に見かけた大きな鳥を2羽発見。悠々と飛び回り、街灯で羽を休めていました。特徴的な鳴き声を上げていたので、ノスリかと思われます。



▲ノスリ

川岸には、白くて美しいダイサギの姿もありました。この日は計5種の鳥類を観察することができました。これらは全て、市史に写真と解説が掲載されています。市史は図書館や学校にも置いてありますので、ぜひご覧ください。慣れ親しんだ場所でも、市史を片手に散策してみると新たな発見や学びがあるかもしれません。豊かな自然を眺めながら、ゆっくり過ごしてみるのはいかがでしょうか。

【参考・鳥類拡大写真引用】『常陸大宮市史 別編2 自然』

### ■問い合わせ■

文化スポーツ課 文化振興グループ

電話:52-1111(内線343)